

標 題 | アスパラガス産地づくりへ踏み出せ、初めの一步！！

(ダイジェスト)

今年からアスパラガスの高畝栽培が、雲南市で始まりました。農業部では、アスパラガスの産地化に向けて、重点的な指導とモニタリングシステムを活用したデータ収集を行っています。この事例をもとに、新規栽培者の掘り起こしや新規就農者の確保につなげていきたいと考えています。

雲南地域では、「タマネギ」「白ネギ」「ミニトマト」「アスパラガス」を水田園芸品目として推進しています。雲南農業部では、まとまった土地の確保が難しい中山間地域において、小さな面積で高収益を確保できる品目としてアスパラガスに注目しています。さらに、高畝栽培にすることで土壌条件に左右されず、収穫時の腰への負担が軽減できるなどの利点もあります。しかし、雲南地域ではこれまでアスパラガスが栽培されておらず、雲南地域に適した栽培方法の確立が求められています。そこで、今年から栽培を開始した（農）三代原ファームを産地づくりの核になる生産者と位置づけ、重点的に技術指導を行っています。また、島根県で推進しているスマート普及活動にも取り組み、モニタリングシステムを導入することで、全国平均以上の反収を実現して収益性の向上を目指します。

今年4月23日に定植指導を行い、ビニールハウス3棟（12a）で栽培が始まりました。安定生産の実現に向けて、定期的に生育調査（茎長・茎数・茎径）と病虫害発生状況確認を行っています。生育調査や病虫害確認、モニタリングシステムで収集したデータは、来年度以降のアスパラガス生産者の栽培指針となるように活用していこうと考えています。

また、高畝栽培については「防除など日々の管理がしやすい」と生産者から好評で、今後の規模拡大を期待しているところです。

雲南地域で初となるアスパラガス高畝栽培が成功するよう支援するとともに、新たにアスパラガスを栽培したいという農家の掘り起こしや、新規就農者の確保につなげていきたいと考えています。



定植指導の様子



順調な生育（令和3年8月11日）